

自販機へらそうキャンペーン

ご賛同・ご参加ください!

同封のチラシを
ご覧ください!



ごみかん理事 江川美穂子

刻々と変わる原発事故の報道に、胸がつぶれそうになっていた3月中旬、1本の電話がかかってきました。ごみかん会員の武蔵野市の白石ケイ子さんからでした。白石さんは、武蔵野市でごみ問題に取り組み、先進的な活動の牽引役として長年がんばってこられた方です。

その電話の内容とは…「こんなに湯水のように電気を使うライフスタイルを改めなければ。その相談に乗ってほしい」というものでした。「以前から、市長とのタウンミーティングなどで、公共施設の自動販売機を減らしてほしいと要望してきたけれど、いい返事はもらえなかった。でもここで少しでも変えないとネ。節電で理解が得られやすい今こそ、まず公共施設から多すぎる自販機を減らしていきたい!」と白石さん。

「大賛成!ここで行政が範を示さないと」とさっそく要望書の案を書いてみることにして電話を切りました。

その後、白石さんの呼びかけで、武蔵野市民の方々や、ごみ・環境ビジョン21、容器包装の3Rを進める全国ネットワーク、FoE Japanのメンバーが集まり、そこが事務局となって運動を展開していくことになりました。そして、同封のチラシのように、呼びかけ団体も10団体に増え『自販機へらそうキャンペーン』がスタートしました。

- * 4月23, 24日のアースデイ(代々木公園会場)でチラシを配布
- * 4月28日 キャンペーンスタートをプレスリリース
- * 5月17日 東京都へ要望書提出
- * 5月20日 キックオフセミナー開催

この夏は全国で電力量が切迫すると報道されていますが、そもそも、日本中、電気のムダが多すぎます。自販機も昔よりは節電型になっているとはいえ、異常な自販機大国ニッポンであることに変わりはありません。

「自販機へらそう」のアクションをいっしょに起こしましょう! 賛同団体にぜひ加わってください。

こんなに
いらなよネ



大丈夫!!
ホウたちに
まかせて。

